



お元気ですか
志村 たかよし です

第461号 2009年9月27日

日本共産党中央区議団

中央区築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

「第3回中央区商店会加入促進大会」開催

9月15日、銀座プロッサムで、「第3回中央区商店会加入促進大会」が開催されました。

開会の挨拶で、中央区商店街連合会の重盛永造会長（写真）は「この2年間で2団体が加入し、31商店会となった。会員は1593人で組合員は増えているものの、世の中はこういう状況なので盛り上がりには欠けている。大型店への行政のしほりもゆるい」と語りました。

基調報告の後、「実践報告」とし



挨拶する重盛永造中央区商店街連合会会長

て、新たに加入した二つの団体のお話がありました。

甘酒横丁商店会の佐々木誠治会長からは「甘酒横丁は300坪に約60店舗。昭和57年に立ち上げた甘酒横丁会を今年1月25日に甘酒横丁商店会と改め、加入した」との報告がありました。

日本橋三丁目西町会・商店会の野永喜一郎連合会会長の報告では、東京駅前再開発事業に触れ「八重洲は丸の内と同じ道をたどるのはイヤだ。光と緑を中心に明るい町、緑のある町を作りたい。イベントで人を集めるのではなく安らぎの町を作ろう。エコの町、木を使った町を作ること、みんな一致している」と力強く訴えました。

中央区が超高層ビル中心の再開発が進めるなか、「光と緑のH」の町「安らぎの町」を作りたいという思

いは21世紀のまちづくりのあり方ではないかと共感しました。

大型の再開発を誘導・促進している区は、土地活用の効率化など大企業の実現に促うのではなく、地元の実声な声をしっかり受け止めるべきだと思います。

「大会宣言」から

- ①安全・安心なまちづくりを通して、潤いとにぎわいのある魅力的な商店街づくりを目指します。
- ②地域商店会とスーパー、コンビニエンスストアなどのチェーン店が共存共栄による商業の活性化を推進します。
- ③これらの実現を担保するため、未加入商業者の全店舗加入を目指し、商店会組織の強化に努めます。

子育て支援強化、雇用創出などを軸とした補正予算を区が提出

第3回定例会には、5億6千7百万円増の補正予算が提出されました。

◎主な内容は次の通りです。

新型インフルエンザ対策



★新型インフルエンザの医療資器材の追加整備と予防体制の推進を図るために1千8百万円。

保育所の開設



★私立認可保育所「さわやか保育園・勝どきの丁目」の分園を、勝どき4丁目の児童遊園内にプレハブ2階建てで2010年5月1日に開設（予定）する準備経費の補助として1億百万円。

★晴海3丁目グラスシティ晴海の1階に今年10月1日開設予定の私立認可保育所に対し、開設準備金の補助額を4千5百万円

増額。

★新規に開設する認証保育所（2カ所）に対し、開設準備金として補助金を7千万円増額。

*2カ所：①月島3丁目旧区営月島アパートの1・2階を活用し11月1日開設予定。②晴海三丁目西地区の再開発事業地区内に2010年1月1日に開設予定

コミュニティバスの充実

★コミュニティバス車両を1台追加購入（計9台）するため全車両にAEDを設置するため2千3百万円。

民間施設の緑化促進

★民間施設の緑化助成制度の実績が大幅に増加（3割増）しているため助成金を1千万円増額。



★築地場外市場地区における区有地（小田原橋臨時駐車場等）を活用して駐車場等の機能充実に図るため、地質調査を実施するの6百万円。

緊急雇用創出事業



★雇用情勢の急速な悪化を受け、さらなる雇用の創出を図るため、都の補助金を活用して8つの緊急雇用創出事業を行うために5千万円。

*8つの緊急雇用創出事業：
①新型インフルエンザ対策用リーフレット区内全戸配布②公園内マナーアップパトロール③街路灯および街路樹の点検調査④既存建物の実態調査⑤学校における緑化推進調査⑥伝統工芸・近代産業に関する調査⑦コミュニティバス周知キャンペーン⑧駅周辺等放置自転車の整理

後期高齢者医療の保険料値上げを検討

東京都後期高齢者医療広域連合が、保険料の値上げを検討していることがわかりました。（「しんぶん赤旗」9/16付）

広域連合の試算によると、東京の保険料は、

年金収入211万円の単身者の場合、年保険料は現行より9600円～4100円の増。

同収入の2人世帯の場合は、1万2400円～5200円の増となる計算です。

このような保険料値上げの検討は、今度の総選挙で示された後期高齢者医療制度に対する批判の世論に逆行するものです。

75歳以上の方を差別する後期高齢者医療制度を廃止させ、安心できる医療制度を確立しましょう！